

※ 搬送ベルトに関する情報を無料でお届けします。ご不要の際はご面倒ですが、御社名 F A X 番号をご記入頂き、F A X 0 6 - 6 4 6 5 - 0 7 0 8 へご返信くださいますようお願い申し上げます。

搬送ベルト知っとく情報

(21年/1月)No.204

発行：吉野ゴム工業(株)

@企画 出口

過去の情報は



こちらから

新年明けましておめでとうございます。

本年も『吉野ゴム工業株式会社～知っとく情報』を宜しくお願い申し上げます
～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

◆YOSHINO ワンポイント情報!◆

【ベルトの摩耗試験】

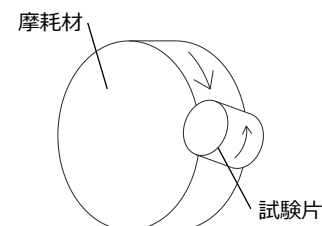
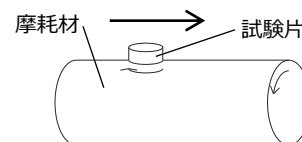
第 200 号のアンケートで、ゴムの摩耗試験について「DIN 摩耗試験とアクロン摩耗試験の違いは？ベルトで DIN 摩耗試験を採用しているのはなぜ？」との意見を頂きました。共に JIS K 6264 で以下の様に規定されています。

DIN 摩耗試験：研磨布を巻き付けたドラムを一定の速度で回転させ、試験片（回転している）を想定荷重で押し付けて摩耗させる。

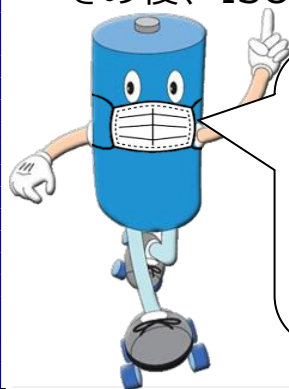
→主に、タイヤやベルトなどの摩耗評価に用いられる。

アクロン摩耗試験：円盤状試験片の円周面を、規定荷重で摩耗材の円周面上に押し付け、両者の回転軸に一定の角度を与え、回転する試験片と摩耗材との摩擦で試験片を摩耗させる。

→主に、タイヤや靴底などの摩耗評価に用いられる。



ゴムの摩耗は非常に複雑で、ゴム製品の用途・摩耗させる相手・削られ方など影響する要因が無数にあり、一つの試験機で全てを評価することは困難です。その為、個々の実際の摩耗パターンに合わせて試験機が開発され、それが規格化されていったようです。DIN 摩耗試験機は、ドイツ工業規格 (DIN 53516) の試験機で、コンベヤベルトの摩耗試験として使われていました。その後、ISO→JIS の順に DIN 摩耗試験が JIS に反映されたようです。



ちなみに、1977年の旧 JIS の K 6322 では摩耗試験に関する規定はありません。JIS に DIN が登場したのは、ISO に批准し始めた 1988 年の新 JIS からです。

『安全第一』

年が明けても、まだまだ収束の気配が見えないコロナウイルスですが、心身共に健康で過ごしましょう。

Yoshino 吉野ゴム工業株式会社
YOSHINO RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.

■ URL > <https://www.yoshino-rubber.com>

大阪Tel > 06-6461-5751

東京Tel > 03-3883-7159

名古屋Tel > 052-602-0090

九州Tel > 093-551-0775